

1位

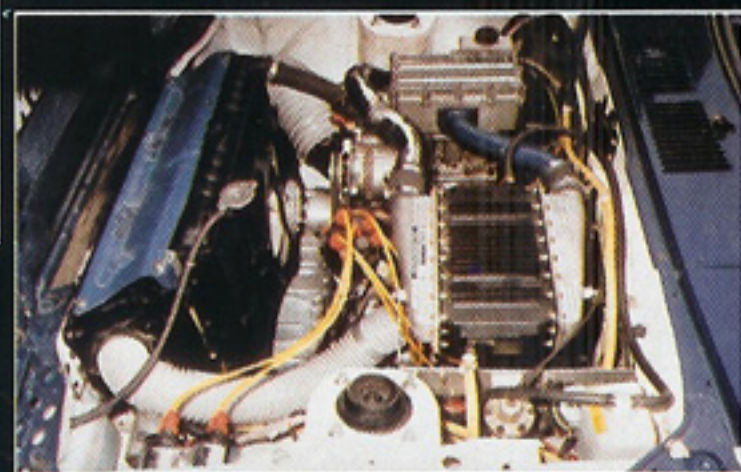
254.42km/h



# 雨宮RX-7・13Bターボ 13B+ターボでチューニ ングカーの金メダリスト



↑最高速254.42km/hのMM誌テスト車両中では最高のデータを出した雨宮RX-713Bターボ  
→見るからにスパルタンなイメージをもつRX-7。



KKKのターボを組み込んだ13B型エンジン



2位

## に対抗するL型3ℓの傑作車

### 雨宮RX-7・13Bターボ

この車のチューンを手がけたのは、ロータリーチューンでは定評ある雨宮自動車。エンジンはサイトポートの13B型を搭載し、これにエアリサーチ製のターボをトッピングさせている。インタークーラーを装着し、高速巡航時の耐久性アップにも対処しており安心してアクセルを踏み続けられる。

谷田部のテストでは、ゼロヨン12秒98、最高速は254.42km/hと本誌アスト車両の中では最も高いマキシマムスピードを出して

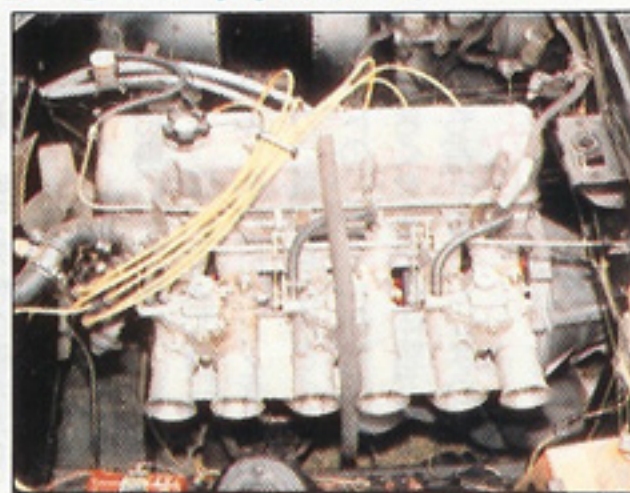
いる。

最高速時は5速で7000rpmまで回っているが、アフリ比の再検討を念めて、さらにチューンナップされれば260km/hも夢ではないハイパフォーマンスの持主である。

サスベンションのチューンはさすがに数々の駿足マシンを手がけた実績を誇る雨宮だけに、何の不安感も抱かせないほどの一級品である。ゼロヨンのフル加速、250kmオーバーの最高速アスト時も直進安定性に何ら無駄な神経を使う必要もない。



インパネまわりはほとんどノーマル状態のチャレンジZ。



ソレックス50φ3連を装着したL型3ℓを搭載するZ。